

# こそだて通信

2013年5月号

## ==よみきかせ==

新しい生活もはやくも一カ月がたちました。少しずつ毎日のリズムに慣れてきたころでしょうか？

仕事をしながらだと、お子さんとゆっくりした時間を持ってない、あるいは、どうやって一緒に遊んであげたらいいのかわからない、という方もいらっしゃるかもしれません。

そんな時は絵本を読んであげてください。座って読むもよし、疲れていれば子どもと一緒に寝転んで読むもよし。0歳から6歳まで、親が体力を使わずとも子どもが満足してくれる数少ないアイテムです。

いつもは読んであげる側の私ですが、先日ある会で絵本を読んでもらう機会がありました。絵をじっくりと見ながら語られる言葉に耳を澄ませていると、どうでしょう。まるで物語の中に自分が入り込んでいるような、非日常の世界に引き込まれていきました。この感覚は読んであげている時には感じたことのないもので、読んだことのある絵本なのにも同じものとは思えない程でした。子どもはこの感覚が味わいたくて、何度も何度も「よんでよんで」とせがむんだなと身体で納得できました。

この時は大人の聞き手が他に何人もいましたが、家で信頼できる大人に抱っこされて読んでもらったら、この上ない安心感に包まれて絵本の世界に自由に飛び立てるんだろうな、最高の時間だろうな、と感じました。

絵本のストーリーと一緒に、あたたかさや安心を届けられる母親でありたいです。その時間が大切なものとなるように。

(臨床心理士 藤井あづさ)